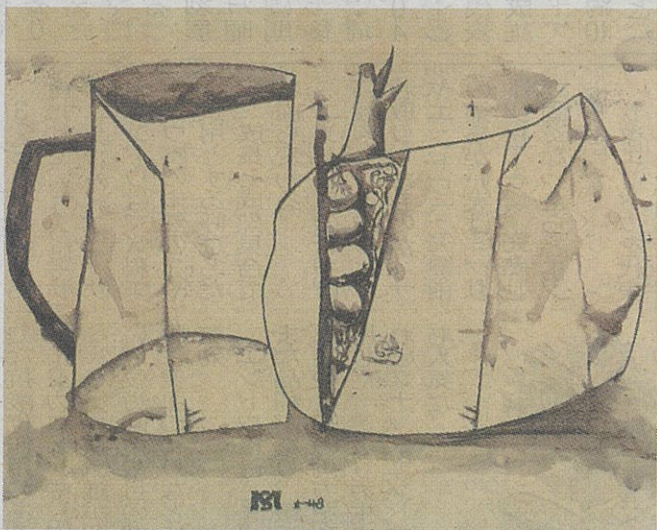


## 文化・芸術



### 「Cup」

1948年1月、墨、紙  
37・8センチ×45・4センチ（個人蔵）

### 松本竣介（1912～48年）

カップとぎくろが並んで見えます。この年  
んでいるかに見えま 6月、竣介は36歳で亡  
す。と、カップの底に くなりました。

は地平が挿し込まれて 戦後、再生の時代の  
いるように見え、さ 中で竣介は、彫刻も手  
くろの表皮からのぞく かけようとしていまし  
内側の実は、みずみず た。そこには量塊の構  
しさというよりもどこ 成に取り組もうとする  
か人間の肉体を想起さ 思考が垣間見られま  
せる生々しささえはら す。「物象を描く事は  
んでいるように感じら 現象を切り開くこと  
れます。頂部には、が ある」と述べた竣介。  
く片とおぼしき一個の 荒々しく大胆に切り込  
生命体がすつくと立ち み解体する手法から、  
あがっています。 新たな絵画の模索が始  
まっています。

画面中央には、モノ 小此木）  
グラムの竣介のサイン ※「松本竣介デッサ  
が黒々と1948年1 ン50」展は12日まで。

### 《名画の扉》

大川美術館企画展「生誕110年記念  
松本竣介デッサン50」から